

整理番号 00190

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Glass Wool Filtering Fiber

グラスウールフィルタリングファイバー

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝2丁目13番4号

住友不動産芝ビル4号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800

FAX 番号

(03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質

化学名

コンティニューアスフィラメント ガラス繊維

成分及び含有量(wt%)

95-100

化学式又は構造式

不特定

官報公示整理番号

化審法

対象外

安衛法

対象外

PRTR 法

対象外

CAS No.

65997-17-3

国連分類及び国連番号

4.応急措置

吸入した場合	すぐに新鮮な空気の場所に移動させる。症状がひどくなる/続く場合には医師に相談する。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼ですぐに洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
目に入った場合	眼をこすらない。すぐに水で洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
飲み込んだ場合	水で口をよくすすぐ。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	入手不可
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

5.火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特有の危険有害性	知見なし
特有の消火方法	火災/爆発の際はヒュームを吸入しない。危険なく行える場合は容器を火災場所から遠ざける。火災の際はタンクを水スプレーにより冷却する。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。ダストを吸入しないようにする。清掃中は適切な保護衣を着用すること。
環境に対する注意事項	環境への流出を防ぐ
封じ込め及び浄化の方法及び機材	清掃中にダストが発生しないようにする。掃き集めるか、掃除機で収集し適切な容器に集めて廃棄する。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限にする。皮膚への接触を防ぐ。眼への接触を防ぐ。ダスト/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	涼しく乾燥して直射日光の当たらない場所に保管する。混触危険物に近づけない（第10項を参照）。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

物質	タイプ	値	形状
コンティニューアスフィラメント	TWA	3 fibers/cm ³	ダスト
ガラス繊維		3 fibers/cm ³	繊維
(CAS 65997-17-3)		3 mg/cm ³	繊維、トータル
		3 mg/cm ³	繊維、トータルダスト

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

適切な換気を設ける。

保護具

眼/顔の保護

サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。緊急アイシャワーと緊急シャワーを備えること。

皮膚の保護

手

適切な耐薬品グローブを着用する。

その他

適切な耐薬品保護衣を着用する。

呼吸器の保護

ダスト/ヒュームが許容濃度を超える恐れがある場合、認証済みの呼吸器を使用する。

熱的危険

必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項

常に取扱後、食事や喫煙の前の手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理/化学的性質

物理状態

形状 ガラス繊維

色 白色

臭い

なし

融点・凝固点

入手不可

沸点又は初留点及び沸騰範囲

入手不可

可燃性

入手不可

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界

入手不可

引火点

入手不可

自然発火点

入手不可

分解温度

入手不可

pH

入手不可

動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可
その他の情報	軟化点 660℃

10.危険性情報（安定性・反応性）

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は知られていない
避けるべき条件	混触危険物質との接触を防ぐ
混触危険物質	強酸化剤、フッ化水素
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない

11.有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的に暴露すると有害な場合がある。
皮膚	ダストまたはパウダーが皮膚に刺激を与える場合がある。
眼	ダストが眼に刺激を与える場合がある。
飲み込んだ場合	飲み込むと不快感を起こすおそれ
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	ダストが気道、皮膚、目への刺激を起こすことがある。
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。

OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手不可
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性	知られていない
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	入手不可
汚染容器	入手不可

14.輸送上の注意

DOT	危険品として規制されていない
IATA	危険品として規制されていない
IMDG	危険品として規制されていない

15.適用法令

該当する法令なし

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(070721) : LECO Corporation
 JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
 JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
 作業場内の表示および安全データシート
 化学便覧 : 丸善

職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年7月1日

改訂：平成21年10月13日（法令見直し）

平成22年4月27日（法令見直し）

平成23年7月11日（住所変更）

平成24年6月15日（法令見直し）

平成28年3月8日（書式見直し、オリジナル SDS 改訂）

令和4年2月7日（法令見直し、2019年版 JIS 対応）

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。